



平成 24 年 1 月 8 日

## 静岡県飛込の競技力向上について

飛込委員会  
広報担当 山本敬樹

これまで静岡県の飛込は西部地区を中心に選手強化が行われ、その後、平成 15 年に富士市で行われた New わかふじ国体をきっかけに東部地区に広まり、昨年中部地区でも選手育成がスタートしたことから、ようやく西・中・東の 3 体制が整いつつある。

しかし、全国大会でも上位を狙える西部・東部に対して、中部の現状は小・中学生が 10 名弱でチーム発足後 1 年あまりと強化にはまだ時間が必要である。周りに手本となる選手がいないのが残念だが、幸いな事に静岡国体後に広まった飛込愛好家の方々が練習や試合の支援してくれているおかげで中部の飛込強化の環境も少しずつ整ってきている。こうしたことはマイナー競技を発展させていく上で非常に重要なことであり、今後も一人でも多くの方に飛込との関わりを持ってもらう事で普及にも力を入れていきたい。

そして、中部地区強化の当面の目標は平成 25 年に静岡市で開催される全国中学で入賞者を輩出し、この大会をきっかけに地域に飛込競技を根付かせることであるが、中部の競技の発展が県飛込界の起爆剤となり、県全体の競技力向上にも繋がることを期待している。

近い将来、県内 3 地区で競い合うことで競技レベルを高めながら、県内の指導者及び関係者も一丸となり日本一の“飛込王国”静岡を創造していきたい。